

大栄地区の小学校5校に係るサウンディング型市場調査の結果概要について

令和3年11月8日

成田市では、閉校となった学校の跡地利活用を図るため、「学校跡地利用基本方針」に基づき、地域の実情等を考慮しながら、新たな跡地利活用の検討を進めています。

この度、令和3年3月末をもって、大栄地区の小学校5校が閉校を迎えたことから、民間活用の可能性を探るべく民間事業者との対話を行い、跡地利活用のアイデアや意向等を把握することを目的とし、下記のとおりサウンディング調査を実施しましたので結果をお知らせします。

1. サウンディング調査実施

- 令和3年 9月 1日 : 調査実施要領の公表、事業者の募集開始
9月28日～29日 : 現地見学会の実施（13団体が参加）
10月19日～21日 : サウンディング調査の実施（10団体が参加）

2. 提案事業・意見等の概要

(1) 学校跡地利活用に係る提案事業の概要

- ・ 地域の高齢者向けの複合型福祉施設など
- ・ 障がい者向けの生活介護施設
- ・ 地域特産物の直売所、オンライン国際交流や講演会の会場及び日本文化の体験施設など
- ・ 地域住民向けの健康増進施設、外国産の食材を取り扱う直売所及び訪日・在日外国人と地域住民との交流拠点など
- ・ 外国人技能実習生を対象とする入国後講習施設（宿泊型研修センター）
- ・ 多能工職人の育成学校、地域住民向けのカフェ及び障がい者就労支援施設
- ・ I o Tシステムの研究開発及び地域の課題をICTで解決する課題解決発信拠点
- ・ 公共交通機関の利用者向けのパークアンドライド拠点
- ・ 主にグラウンドにて、再生可能エネルギーの発電施設及び災害時にも送電可能な蓄電施設が整備された発電拠点
- ・ 主にグラウンドを利活用した、子育て世代等の移住定住を促進する拠点

(2) 民間事業者の自由意見の概要

- ・ 土地や建物の一部のみの利用を想定している事業者同士をマッチングする場を、市で設定してもらいたい。
- ・ 市の方針の決定などの関係各所との調整は、スピード感のある対応を望む。
- ・ 老朽化した設備については市で修繕を行うなど、事業者の負担を軽減してもらいたい。
- ・ 土地及び建物の購入については、金額次第であるが検討の余地はある。
- ・ 契約期間については、2年程度の短期間も選択できるような条件としてもらいたい。
- ・ 施設の見学や意見交換を行うことで、構想段階の事業内容を、より具体化することが出来た。

3. 今後の取り組み

いただいた提案・意見を参考に、より良い学校跡地の利活用を実現するため、行政需要及び民間活用の双方について検討を行い、なるべく早期に方向性が決定できるよう協議を進めます。

(お問合せ先) 成田市 企画政策部 企画政策課 (0476-20-1500)